

相模原市指定都市移行10周年記念

指定都市市長会シンポジウム in 相模原

防災・減災を

見据えた強靱な

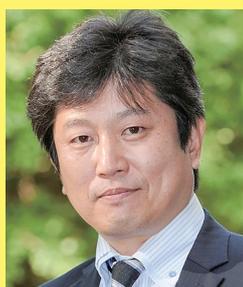
都市形成に向けて

近年、大規模な自然災害が頻発しており、令和元年東日本台風では、神奈川県内においても甚大な被害が発生しました。

防災・減災対策は地方自治体共通の課題となっており、中でも大都市としての総合力を兼ね備えている指定都市においては、災害時にその能力を十分に発揮し、被災地全体の視点から迅速かつ的確に対応することが求められています。

こうしたことを踏まえ、本シンポジウムを通して、指定都市における防災・減災を見据えたまちづくりや大規模災害における指定都市の役割等について考えます。

## パネルディスカッション開催



コーディネーター

加藤 孝明

東京大学 生産技術研究所 教授  
東京大学大学院修士課程修了。同大学院助教などを経て、2019年4月より現職。  
専門分野は、都市計画、まちづくり、地域安全システム学。  
内閣府地区防災計画アドバイザー会議議長、国土交通省の委員などを務める。



パネリスト

福田 紀彦

川崎市長



パネリスト

小林 一美

横浜市副市長



パネリスト

本村 賢太郎

相模原市長

令和3年

2月27日(土)

午前9時(配信開始)



申し込み不要

どなたでも  
視聴いただけます。

## 指定都市市長会とは

全国の指定都市の緊密な連携のもとに、大都市行財政の円滑な推進と伸張を図ることを目的として2003年に設立されました。大都市行財政の共同調査や、大都市制度・財源拡充等の政策提言を行っています。現在、相模原市をはじめとする全国20都市で構成されています。



主催：指定都市市長会

共催：相模原市